

平成18年10月27日

各位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役会長 左近 真也  
(コード2388 大証ヘラクレスG)  
問合せ先 管理部長 竹村 卓郎  
(TEL. 03-5217-0723)

## 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失を計上する見込みとともに、平成17年11月11日付当社「平成17年9月期決算短信(連結)及び個別財務諸表の概要」にて公表いたしました平成18年9月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1 特別損失の発生及びその内容

##### (1) 連結(通期)

- 当社グループでは、株式交換により、株式会社エースデュースコード、株式会社ファントム・フィルム、株式会社ラディクスエースエンタテインメント及び株式会社モバニーションをそれぞれ連結子会社とし、コンテンツに特化した総合エンタテインメント企業のリーディング・カンパニーを目指しました。しかしながら、売上高、利益が当初の予定に達せず、その結果として評価替えに伴うのれんの減損を計上することとなりました。当該減損の計上により、特別損失が約787百万円発生いたします。

##### (2) 個別(通期)

- 急速に変化する事業環境の中で、当社の出資している会社のうち純資産が帳簿価額を下回っている会社について各社の事業展開における回収可能性を精査した結果、関係会社株式評価損が約15百万円、投資有価証券評価損が約6百万円を特別損失で計上いたします。

#### 2 平成18年9月期連結業績予想数値の修正(平成17年10月1日～平成18年9月30日) (単位:百万円,%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,216	249	130
今回修正予想(B)	3,277	89	717
増減額(B-A)	939	160	847
増減率(%)	22.3	64.3	651.5
(ご参考) 前期実績(平成17年9月期)	1,337	94	534

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 17,957円31銭

3 平成18年9月期個別業績予想数値の修正（平成17年10月1日～平成18年9月30日）  
（単位：百万円，％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	165	0	3
今回修正予想（B）	184	14	8
増減額（B - A）	19	14	5
増減率（％）	11.5	-	166.6
（ご参考） 前期実績（平成17年9月期）	481	87	42

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 221円88銭

4 修正の理由

平成18年9月期の連結業績予想につきましては、売上高は前回発表を下回る3,277百万円を見込んでおります。これは主に、コンテンツ制作事業において当初見込んでいた収益等を確保できなかったこと、コンテンツ流通事業で商品販売が伸び悩んだこと、出版業界の不況のあおりを受けメディア事業の受注が落ち込んだこと等によります。この売上高の減少に伴い、経常利益は89百万円にとどまる見込みです。固定費等の削減に努めましたが、売上高の減少分を吸収するには至りませんでした。当期純利益は、上記特別損失の発生により717百万円（損失）を見込んでおります。

平成18年9月期の個別業績予想につきましては、売上高は前回発表を若干上回る184百万円を見込んでおります。経常利益は、前回発表を上回る14百万円を見込んでおります。当期純利益は、上記特別損失の発生により、前回発表を下回る8百万円（損失）を見込んでおります。

なお、上記の予想は、本資料の発表時に入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

5 今後の方針

当社は平成18年9月期の業績予想の修正に際し、過年度までの経営方針を抜本的に見直し、負の遺産を一掃するため、特別損失処理に踏み切りました。当社は当期の業績予想の修正を真摯に受け、グループ組織の再編を前提としグループ内人事の見直し、及び収益基盤を強化してまいります。現在、平成19年9月期以降の事業計画『WEDGE VISION2010』を策定しており、新生ウェッジホールディングスとしてグループ資産を最大限活用し、黒字化の実現を目指してまいります。決算発表予定日（平成18年11月17日）に今後の新体制及び事業展開について公表させていただき予定でございます。

以上